

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 スパークス・グループ株式会社
 コード番号 8739 URL <http://www.sparx.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 阿部 修平
 (氏名) 峰松 洋志

TEL 03-6711-9100

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	1,801	94.9	306	—	300	—	229	—
25年3月期第1四半期	924	△27.2	△198	—	△167	—	△1,437	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 329百万円 (—%) 25年3月期第1四半期 △824百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	113.73	113.04
25年3月期第1四半期	△712.33	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	13,336	10,356	67.9
25年3月期	12,952	10,030	67.6

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 9,060百万円 25年3月期 8,759百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	—	—	—	—

平成26年3月期の配当予想につきましては、業績予想を開示していないため、配当予想額は未定であります。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

当社グループの主たる事業である投信投資顧問業は、業績が経済情勢や相場環境によって大きな影響を受ける状況にあるため将来の業績予想は難しいと認識しております。

なお、月末運用資産残高につきましては、原則として毎月翌月初5営業日以内に別途開示しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	2,080,427 株	25年3月期	2,080,427 株
26年3月期1Q	62,427 株	25年3月期	62,427 株
26年3月期1Q	2,018,000 株	25年3月期1Q	2,017,856 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく連結財務諸表の監査手続きが実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社は、上記「3. 平成26年3月期の連結業績予想」に掲げた理由から、配当予想額についての記載をしておりません。配当額が確定した時点で速やかに開示いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間において、前年度後半から一貫して上昇を続けてきた日本株式市場は5月中旬に調整局面を迎えることとなりましたが、日本株式に係る運用資産残高の回復に加えて運用成績も好調であったことから、残高報酬及び成功報酬が拡大し、当社グループの業績は回復しました。

資産運用事業を取巻く市場環境は、好調を持続する米国とデフレ脱却へ舵を切った日本が強気を支える一方、中国経済の減速や金融システムの不安と欧州経済の低迷が弱気の要因でしたが、米国における量的緩和第3弾(QE3)の縮小が伝えられるや、緩和マネーの縮小への懸念が世界の株式市場に下落のインパクトを与えました。日本の株式市場は短期間に大幅な上昇をしていたことから調整の度合いも大きく、5月中旬の15,000円台の高値から12,000円台まで下落することとなりました。また、銘柄毎の株価の変動も極めて大きく、運用には困難な状況でありましたが、ロングショート戦略を中心に安定的な運用成績を達成できました。期間の末には市場も落ち着きを取り戻し、日経平均株価は13,677.32円と3月末に比べ上昇して取引を終えており、日本株式に係る運用環境は再び好転したものと認識しております。

一方、韓国株式市場は円に対するウォン高による競争力の低下懸念や朝鮮半島の地政学リスクを受けて軟調な展開が続いていましたが一旦は持ち直し、安定して推移しました。しかしその後、最大の貿易相手国である中国リスクの顕在化や米国の金融政策の変更が新興国市場からの資本流出を招くとの不安が直接に影響し、株式市場の代表的な指数であるKOSPIは、結果的には3月末の2,004.89から1,863.32に下落して取引を終えました。

このような市場環境において、日本株式及び日本不動産等に係る運用資産残高は増加したものの、韓国株式に係る残高が減少し、当社グループの当四半期末における運用資産残高は、前年度末に比して金額で70億円、比率で1.0%減少して6,622億円となりました。日本株式について良好な投資環境が持続するとの見通しと、当社グループの優れた運用成績に基づき、国内及び海外の投資家へのアプローチを強化しており、特に海外からの関心は高いことから、運用資産残高の拡大に繋がるものと期待しております。また、好調な運用成績により、当四半期の間にファンド決算を迎えた複数のファンドについて成功報酬を計上し、決算日が翌四半期以降に到来する幾つかのファンドも基準価額がハイ・ウォーター・マークを上回っていることから、継続的な成功報酬が期待されます。日本株式に係る運用資産残高、残高報酬及び成功報酬は回復と増加のステージに至り、ファンドの運用成績が当社グループの収益を直接に押し上げる状況になったと認識しております。また、日本の不動産やソーラー発電事業を投資対象とする運用戦略も着実に投資家の信頼を得ており、当社グループの事業ポートフォリオの柱の一つへと成長しつつあります。日本市場を対象とするビジネスが当社グループの当面の回復と成長を支える基盤と認識する一方、日本／韓国／香港各拠点の知見や知識を高次元で統合し、アジア株式の一体的な運用力や商品提供力の強化に持続的に取り組むことで、次のステージでの飛躍が確かなものになると考えております。

上記の結果、当第1四半期連結累計期間における残高報酬は前年同期比36.7%増の10億49百万円となりました。また、成功報酬は、主として日本株式に係る投資戦略からの計上により、4億62百万円（前年同期は0百万円）となりました。その他収益は、幾つかのアドバイザー業務等に係る報酬が生じたことにより同84.3%増の2億88百万円となり、営業収益は18億1百万円（同94.9%増）となりました。

営業費用及び一般管理費に関しては、同33.1%増の14億95百万円となりました。これは運用資産残高に連動する支払手数料や収益に連動する人件費が、それぞれ増加したこと等によるものです。

この結果、営業利益は3億6百万円（前年同期は1億98百万円の営業損失）、経常利益は3億円（前年同期は1億67百万円の経常損失）、四半期純利益は2億29百万円（前年同期は14億37百万円の四半期純損失）となりました。

今後も業務運営における効率性を厳しく追求する一方、一貫した投資哲学に裏付けられた優れた運用実績を投資家にお伝えし、株式投資戦略の運用資産残高の回復と増大に粘り強く取り組むと共に、実物資産や個別事業を対象にした新たな運用戦略の提供によって顧客の投資ニーズを発掘し創造していくことで、グループ全体の業績の回復を確かなものにしていく所存です。

（注1）当第1四半期連結累計期間末（平成25年6月末）運用資産残高は速報値となっております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金・預金	5,926	7,374
有価証券	408	220
前払費用	60	42
未収入金	108	138
未収委託者報酬	130	191
未収投資顧問料	606	651
預け金	502	503
繰延税金資産	2	2
その他	41	39
貸倒引当金	△0	—
流動資産計	7,787	9,162
固定資産		
有形固定資産	145	140
無形固定資産		
ソフトウェア	9	8
のれん	1,728	1,448
無形固定資産合計	1,737	1,456
投資その他の資産		
投資有価証券	2,844	2,122
差入保証金	395	402
繰延税金資産	38	46
その他	17	18
貸倒引当金	△12	△13
投資その他の資産合計	3,282	2,576
固定資産計	5,165	4,173
資産合計	12,952	13,336

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
未払手数料	91	92
未払金	326	257
前受金	200	137
未払法人税等	513	591
賞与引当金	3	77
その他	14	43
流動負債計	1,149	1,200
固定負債		
社債	1,500	1,500
繰延税金負債	116	118
その他	155	160
固定負債計	1,772	1,779
特別法上の準備金		
金融商品取引責任準備金	0	0
特別法上の準備金合計	0	0
負債合計	2,921	2,979
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,456	12,456
資本剰余金	14,309	14,309
利益剰余金	△14,310	△14,081
自己株式	△4,438	△4,438
株主資本合計	8,016	8,246
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	182	188
為替換算調整勘定	560	626
その他の包括利益累計額合計	742	814
新株予約権	110	117
少数株主持分	1,160	1,177
純資産合計	10,030	10,356
負債・純資産合計	12,952	13,336

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
営業収益		
委託者報酬	165	616
投資顧問料	601	896
その他営業収益	156	288
営業収益計	924	1,801
営業費用及び一般管理費	1,123	1,495
営業利益又は営業損失(△)	△198	306
営業外収益		
受取配当金	55	1
受取利息	32	25
有価証券売却益	—	16
負ののれん償却額	24	—
雑収入	7	8
営業外収益計	119	52
営業外費用		
支払利息	14	4
有価証券評価損	—	39
租税公課	43	1
為替差損	13	10
雑損失	16	3
営業外費用計	88	58
経常利益又は経常損失(△)	△167	300
特別利益		
投資有価証券売却益	11	24
社債消却益	96	—
特別利益計	107	24
特別損失		
投資有価証券売却損	204	0
投資有価証券評価損	1,140	—
特別損失計	1,344	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,404	324
法人税、住民税及び事業税	15	85
法人税等調整額	1	△4
法人税等合計	16	81
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,421	242
少数株主利益	15	13
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,437	229

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△1,421	242
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	875	2
為替換算調整勘定	△278	83
その他の包括利益合計	596	86
四半期包括利益	△824	329
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△765	301
少数株主に係る四半期包括利益	△59	28

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。